

高糖分高消化性飼料用イネ WCS は泌乳牛 のチモシー乾草給与量の 50%を置き換え可能

高糖分高消化性の飼料用イネ「たちあやか」は、牛が消化できない粗の割合が少なく、糖分が高いため消化性が高いえさ用の新品種です。このイネで作ったえさ（ホールクロップサイレージ：WCS）を乳牛の泌乳中期～後期*にどの程度給与できるか検討しました。その結果、乾物あたりチモシー乾草の 50%を「たちあやか」の WCS に置換しても乾物摂取量や乳量に差はなく、乳成分では乳脂率が高くなりました。なお利用にあたっては、給与する WCS の成分分析を行い、泌乳牛の状況に応じた飼料設計が必要です。

* 泌乳期：分娩後日数によりステージ分けされ、前期（分娩後 0～60 日）、中期（61～150 日）、後期（151～240 日）、末期（241～305 日）に分けられる。

表 1 「たちあやか」WCS 発酵品質および成分

水分 %	pH	有機酸含量(原物%)				Vスコア	飼料成分(乾物%)	
		乳酸	酢酸	プロピオン酸	酪酸		TDN	CP
71.3	4.8	0.84	0.09	0.00	0.02	98	56.1	5.8



図1「たちあやか」の草姿
粗が少なく葉や茎に糖分がたまる

表 2 飼料混合割合と成分 (乾物%)

混合割合/DM	配合	大豆粕	ビート	アルファ	チモシー	「たちあやか」 WCS
チモシー100%区	45	0	10	10	35	0
飼料用イネ50%区	43	2	10	10	17.5	17.5

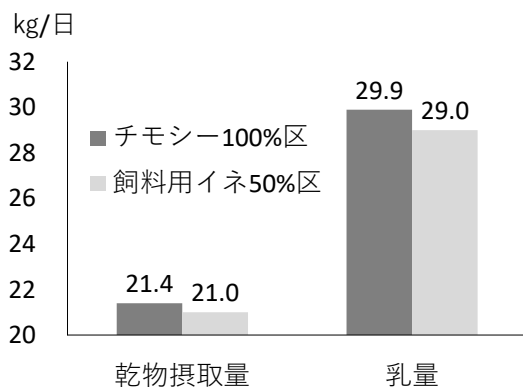


図2 乾物摂取量および乳量 (kg/日)

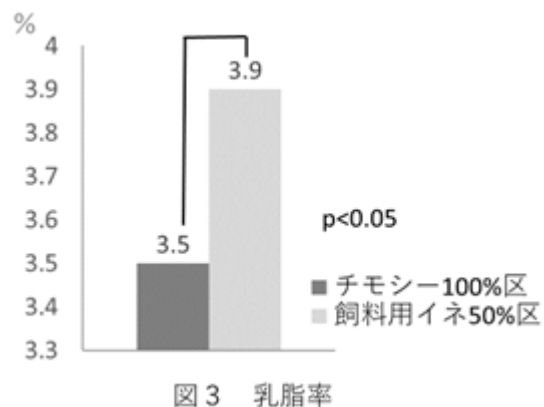


図3 乳脂率

チモシー100%区と比較して 50%置き換え区は乾物摂取量、乳量に差はなく乳成分では乳脂率が高くなりました。

(酪農担当 TEL048-536-0441)